

PCAPS 研究会・QMS-H 研究会合同シンポジウム

平成 21 年度 最終成果報告シンポジウム

【患者状態適応型パス統合化システム(PCAPS)】

臨床知識構造化ツール

～ P C A P S 活用の実際 ～

プログラム

日時：2010 年 3 月 13 日(土) 10:00～17:00 終了予定 (途中昼休憩 1 時間)

会場：東京大学本郷キャンパス安田講堂

はじめに

医療は社会技術です。ここでいう社会技術とは、社会が全体として保有していなければならない技術（目的達成のための再現可能な方法論）という意味です。医療の質・安全の維持・向上のためには、医療に固有の知識・技術とそれらの知識・技術を組織的にいかすマネジメントの双方が必要です。本シンポジウムでは、この2つの「知」を融合し「社会知」として運用できる「医療社会システム」の構築に向けた議論をいたします。

本日は、固有の知識・技術である「臨床知識」を構造化・標準化した多様な PCAPS コンテンツをご紹介しますとともに、それら電子コンテンツを実際の医療現場で活用していくための PCAPS 統合化システムの強化された機能をごらんいただき、臨床現場・臨床研究における活用の実際を解説いたします。

PCAPS 研究会の活動は 6 年が経過しました。2005 年 3 月の第 1 回目成果報告シンポジウムから数えると本日で 6 回目のシンポジウムとなります。この間に、PCAPS コンテンツ構造モデル構築・領域別コンテンツ設計・標準化手法開発・電子コンテンツ開発・統合化システム開発・実装支援組織 PCAPS-IMT コンソーシアム設置、等々と、医療現場で実活用していただくための諸活動を展開してまいりました。多くの医療者が自発的・ボランティアに参画し、この活動を支えています。それが、医療の質・安全保証のための臨床プロセス標準化活動にとって、もっとも重要なことだと考えています。

2010 年 3 月 13 日

PCAPS 研究会 代表：飯塚悦功

副代表：水流聡子・棟近雅彦

PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System：患者状態適応型パス)

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare：医療における質中心経営管理システム)

主催：東京大学工学系研究科 医療社会システム工学寄付講座

共催：PCAPS 研究会、(社)日本品質管理学会 (JSQC) 医療の質・安全部会、QMS-H 研究会 (JSA 後援)

後援：日本規格協会 (JSA)、PCAPS - IMT コンソーシアム

研究助成：厚生労働科研 (がん臨床研究事業：飯塚班)、厚生労働科研 (第 3 次対がん総合戦略研究事業：若尾班)

日本規格協会 (JSA) 産学連携研究助成、神戸先端医療センター知的クラスター

社団法人 全国社会保険協会連合会共同研究

午前の部

司会：棟近 雅彦(早稲田大学)・水流 聡子(東京大学)

10:00-

：PCAPSによる臨床知識の構造化

飯塚 悦功 (東京大学)

10:10-

：PCAPS統合化システム開発プロジェクト報告

- ・ 各領域の臨床知識構造化モデルの開発と実活用
- ・ Builder, Administrator, Analyzer の機能強化
 - 多様な臨床知識構造化モデルへの対応
 - 計画作成・共有・実施, 構造化サマリー作成

水流 聡子・飯塚 悦功・棟近 雅彦

加藤 康之(サイバー・ラボ)

万永 正信(京セラコミュニケーションシステム)

- DPC データ & PCAPS による臨床の質分析
 - ・ 臨床知識構造化コンテンツの作成過程
 - 乳がんコンテンツの作成過程
- (質疑応答)

水流 聡子・飯塚 悦功・棟近 雅彦

青儀 健二郎(四国がんセンター)

11:20-

：PCAPSの活用

- ・ PCAPS コンテンツによる血液透析導入の質保証

藤井 直彦(兵庫県立西宮病院)

- ・ スタンドアロンPCAPSによる臨床運用

名取 良弘・水野 良美・佐野 美和子(飯塚病院)

- ・ 虚血性心疾患コンテンツによる診療分析

三浦 英男(長野中央病院)

- ・ 生体肝移植における臨床開発研究

田中 紘一・山田 貴子・中田 知廣(神戸先端医療センター)

(質疑応答)

12:40-13:40 昼休み

飯塚悦功・水流聡子・棟近雅彦監修 PCAPS 研究会編

『医療の質安全保証に向けた臨床知識の構造化(1) 患者状態適応型パス 電子カルテおよび病院情報システム搭載版電子コンテンツ 2009 年版』(日本規格協会) 定価：本体 5671 円(税込)



午後の部

司会：水流 聡子(東京大学)・棟近 雅彦(早稲田大学)

13:40-

PCAPS コンテンツ作成プロジェクト報告:ポスターセッション

座長:

- ・ ストリーム : 藤原 優子(慈恵医科大学病院)
- ・ ストリーム : 進藤 晃(大久野病院)
- ・ ストリーム : 勝田 俊郎(北九州市立医療センター)
- ・ ストリーム : 吉井 慎一(水戸総合病院)

発表コンテンツ (カッコ内は掲示のみ)

発表者等の詳細については別紙を参照してください。

【ストリーム 】 ・結腸がん(+栄養 UL) ・小児循環器疾患 ・アトピー性皮膚炎 ・新生児(周産期) (・疼痛マネジメント UL) (・褥瘡 UL) (・脳内病変) (・肝がん)	【ストリーム 】: ・MVD(顔面痙攣/三叉神経痛) ・生体肝移植 ・腎不全(透析導入) ・訪問看護 ・虫垂炎 (・アナフィラキシー) (・薬物中毒) (・蘇生後脳症) (・高齢者救急)	【ストリーム 】: ・脳梗塞急性期 ・脳梗塞慢性期 ・COPD 連携 ・喘息 ・小児肺炎 (・肺がん) (・糖尿病検診連携)	【ストリーム 】: ・乳がん ・前立腺がん ・がん薬物療法 ・虚血性心疾患 ・精神疾患 (・前立腺がん化学療法) (・経皮的末梢血管疾患 形成術(PPI))
--	--	---	--

14:40-

PCAPS の臨床疫学調査への活用

座長: 藤原 優子(慈恵医科大学病院)

- ・ 小児心疾患実態調査
 - ・ 小児気管支炎肺炎
 - ・ COPD 増悪
 - (質疑応答)
- 梶野 浩樹 (旭川医科大学)
箕浦 貴則 (仙台医療センター)
茂木 孝 (日本医科大学呼吸ケアクリニック)

~~~~~

15:35-15:45 休憩

~~~~~

15:45-

厚生労働科研 がん診療プロセスの質評価指標開発研究(飯塚班):パネルディスカッション

座長: 飯塚 悦功 (東京大学)

- ・ 俯瞰図(病態管理構造図)
 - ・ 検診連携
 - ・ 手術
 - ・ がん薬物療法の構造
 - ・ フォローアップ連携
 - ・ ディスカッション
- 吉岡 慎一・名取 良弘・吉井 慎一
吉井 慎一(水戸総合病院)
吉岡 慎一(兵庫県立西宮病院)
蒲生 真紀夫(みやぎ県南中核病院)
吉岡 慎一(兵庫県立西宮病院)
メンバー全員

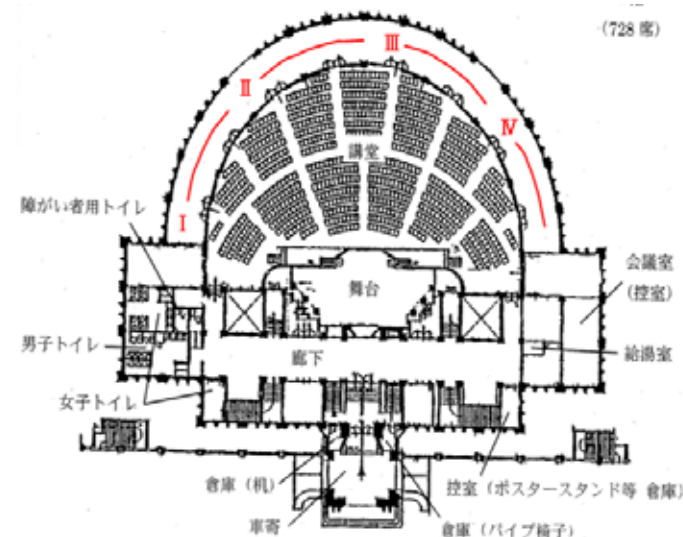
16:50-

医療社会システムの構築に向けて

飯塚 悦功 (東京大学)

17:00 (終了予定)

安田講堂内ポスター展示場所



【ポスター展示会場】

ポスターは本会場を囲む外廊下に展示してあります。
赤字はポスターセッション時のそれぞれのストリームの場所となります。詳細については別紙のポスタープログラムをご参照ください。



【シンポジウム会場】

本会場：東京大学本郷キャンパス 安田講堂

研究会メンバー用昼食会場：

- ・安田講堂控え室
- ・工学部 8 号館 7 階 706 号室と 708 号室

シンポジウム運営組織

主査	飯塚悦功(東京大学・大学院)	
副査	水流聡子(東京大学・大学院)、棟近雅彦(早稲田大学理工学術院)	
運営 スタッフ	< PCAPS 事務局 > 加藤 省吾(東京大学・大学院) 金子 雅明(早稲田大学理工学術院) 小柴 研一(東京大学 共同研究員) 黒田 幸清(東京大学 学術支援専門職員) 佐藤 典子(東京大学 学術支援専門職員)	< 協力学生 > 下野 僚子(東京大学博士課程) 佐野 雅隆(早稲田大学博士課程) 李 垠燦 (東京大学修士課程) 藤井 健人(東京大学修士課程) 吉田 隆宏(東京大学修士課程) 伊藤 岳大(東京大学修士課程) 原田 美沙子(東京大学修士課程) 尾方 優花(東京大学工学部) 杉辺 瑠美子(東京大学工学部) 竹中 秀 (東京大学工学部)

問い合わせ先：

PCAPS 事務局

E-mail：Office_PCAPS@umin.ac.jp

TEL：03-5841-7301 FAX：03-5841-7276

本研究事業HP：<http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

注意：カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPS は各種特許申請済みです。